

2018年2月14日

バンコク日本人学校の中学生に「内視鏡キッズ教室」を開催 ～JICA タイ事務所と連携して、「内視鏡キッズ教室」を海外で初開催～

オリンパス株式会社（社長：笹 宏行）は、独立行政法人国際協力機構（JICA）タイ事務所と連携し、バンコク日本人学校の中学生を対象に、タイの内視鏡トレーニングセンター「T-TEC」*1で「内視鏡キッズ教室」を1月25日に開催しました。

「内視鏡キッズ教室」は、未来を担う子どもたちに、内視鏡や処置具がどのように医療に貢献しているのかを学んでもらうとともに、健康の大切さについて考えてもらうことを目的としたオリンパスの企業市民活動で、2016年から開催しています。これまでに日本国内で25回催しており、今回初めて海外での開催になります。

今回の「内視鏡キッズ教室」は、JICA タイ事務所やバンコク日本人学校との連携により実現しました。JICA は、ODA*2 事業や開発途上国に対する国民の方々の理解促進に貢献することを目的とし、バンコク日本人学校が多文化理解学習の一環として実施している「ODA 学習」を継続的に支援しています。日本の医療技術がタイの保健医療分野の課題解決に貢献していることについて中学生達に理解を深めてもらうために、今回のプログラムが組まれました。

当日はバンコク日本人学校の中学1年生の生徒30名や引率者5名が参加し、消化管の検査や治療に用いる内視鏡や手術に用いる外科内視鏡に実際に触れながら、当社の医療機器の役割について学びました。また、産官学連携による新興国の医師に対する研修への当社の支援や、T-TEC の役割についても学びました。

今後も当社が社会に提供する製品や価値を生かしたプログラムを通じて、子どもたちの学びを支援していきます。

※1 医療従事者に向けた教育やトレーニングの場を提供することで、東南アジア諸国での消化器内視鏡や外科内視鏡に関連する知識や診断・治療などの医療技術基盤の強化に貢献するためにオリンパスが開設し、2016年7月28日から稼働

※2 開発途上地域の開発を主たる目的とする政府及び政府関係機関による国際協力活動



消化器内視鏡の操作を体験



外科手術用内視鏡に興味津々な子どもたち

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。